

くさりし  
くりかえし

きりぎりす鳴くや霜夜の

霜  
夜の初夜

つき返す

衣軽く止める

さむしるに衣かたり

軽く止める

しめ

ひさかじも寝む

こおろぎがしきりに鳴いている霜の降るこの寒い夜に、  
むしろの上に衣の片袖を敷いて、わたしはたったひとり  
寂しく寝るのだろうか。

(百人一首 九一番 後京極摂政前太政大臣)

中一と云